

# 授業構想シートⅡ

学年「単元名」

第〇学年「〇〇〇〇」

第〇時 / 全〇時

目指す児童の姿

「単元構想シートⅢ」の「目指す児童の姿」(★5)を基に、前時までの児童の実態に応じて記入します。

本時のめあて

数学的に表現する姿

「単元構想シートⅢ」の「めあて」(★4)を基に、前時までの児童の実態に応じて記入します。【※1】

働かせたい数学的な見方・考え方

「単元構想シートⅢ」の「働かせたい数学的な見方・考え方」(★2)に記入した内容を基に、特に本時で働かせたい数学的な見方・考え方を、まとめや「マイ・スタ」に蓄積する内容を意識して記入します。

「単元構想シートⅢ」の「数学的に表現する姿」(★3)に記入した内容を基に、特に本時で見取りたい数学的に表現する姿を「読み解く力」の三つのプロセスごとに記入します。



算数・数学の問題発見・解決の過程の中における四つの段階と、「読み解く力」の視点との関係性を示した図

Ⅰ 問いをもつ段階 目的意識  
発見・蓄積

前時までの学習を振り返り、想起する内容を記入します。

「◎」の横には、指導における留意点を記入します。

「・」の横には、児童から引き出したい数学的な見方・考え方、数学的な表現や児童の活動を記入します。

問題：

めあて： 本時のめあて(※1)に記入した内容を転記します。

見通し

Ⅱ 多様な考えを生み出す段階 分析・整理

全体で共有し、「クラス・ログ」に蓄積したい児童の考えを記入します。

- 板書に残しておきたい言葉や図、数、式、表、グラフ等を整理して記入します。
- 共有する際に取り上げる順番や板書を整理して記入します。

Ⅲ 考えを共有する段階 分析・整理  
再構築

Ⅳ 解決過程を振り返る段階 再構築

既習事項と関連付けて、多様な考えの中から見いだした数学的な見方・考え方や、課題解決に向けて考えを伝え合うために用いた数学的な表現等、「マイ・ログ」に蓄積する内容を記入します。

まとめ： 全体で共有した学びを基に、めあてに対するまとめを記入します。

適用問題：

マイスタ

「クラス・ログ」「マイ・ログ」の活用場面に示します。必要に応じて活用方法も記入します。